

第 13 章 イテレータ (Iterators)

イテレータは、ストリームの命令型版です。ストリームのように、イテレータには無限リストを記述する能力があります。しかし、イテレータの成分を含むデータ構造はありません。代わりに、2つの抽象メソッド `next` と `hasNext` を使って、イテレータはシーケンスをたどることができます。

```
trait Iterator[+A] {  
  def hasNext: Boolean  
  def next: A
```

メソッド `next` は、次の要素を返します。メソッド `hasNext` は `next` で返すべき要素がまだあるかどうかを示します。イテレータは他にもいくつかメソッドをサポートしていますが、それは後ほど説明します。

例として、1 から 100 までの数の平方を表示してみます。

```
val it: Iterator[Int] = Iterator.range(1, 100)  
while (it.hasNext) {  
  val x = it.next  
  println(x * x)  
}
```

- [13.1 イテレータメソッド](#)
- [13.2 イテレータの構築](#)
- [13.3 イテレータの使用](#)

[前ページ](#) [13 章](#) [目次](#) [次ページ](#)

名前:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>

投稿